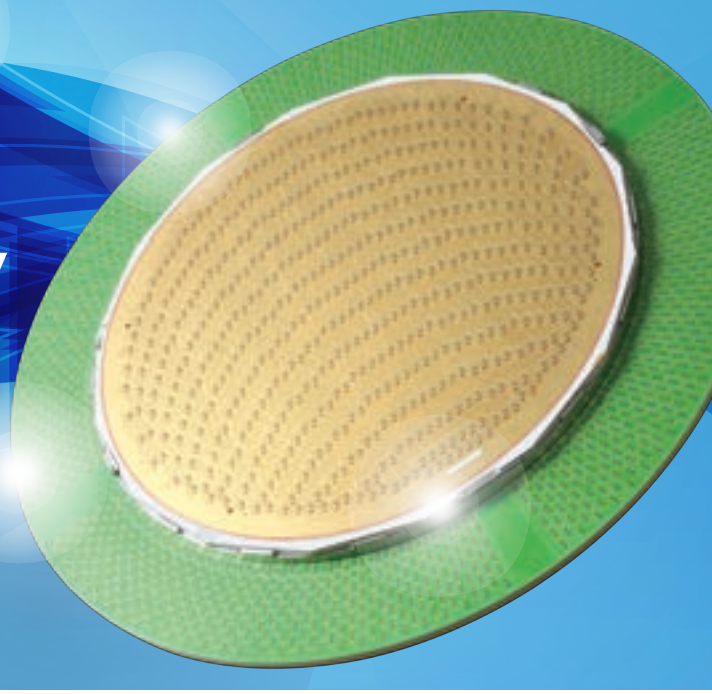
第59期 決算のご報告

2017年4月1日～2018年3月31日

BUSINESS REPORT

JEM TODAY



JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
日本電子材料株式会社

証券コード 6855

トップメッセージ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)の事業の概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長 **大久保 和正**

事業の経過及び成果

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、中国向けスマートフォンの出荷台数の減少やハイエンドスマートフォンの販売不振があったものの、IoTやクラウドサービスの市場拡大によるデータセンター向け需要の一層の拡大や、自動車の電装化の進展等を背景に好調に推移し、NAND型フラッシュメモリー等においては、積極的な設備投資も行われました。

このような事業環境の中、当社グループといたしましては、成長分野の市場動向を見据え拡販に努めた結果、メモリーIC向けにつきましては、NAND型フラッシュメモリー向けの拡販が進み、DRAM向けにつきましても堅調に推移いたしました。ロジックIC向けにつきましても、自動車用半導体向けを中心に売上を伸ばすことができました。利益面につきましても、売上高の増加に伴い、前連結会計年度を上回る結果となりました。

以上により、当連結会計年度の業績は、売上高144億5百万円(前連結会計年度比15.3%増)、営業利益5億1千4百万円(前連結会計年度比358.2%増)、経常利益4億5千6百万円(前連結会計年度比253.5%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、退職給付制度改定益による特別利益8千7百万円及び早期希望退職関連費用による特別損失1億7千万円を計上したこと等により、3億7百万円(前連結会計年度比289.5%増)となりました。

株主の皆様へ

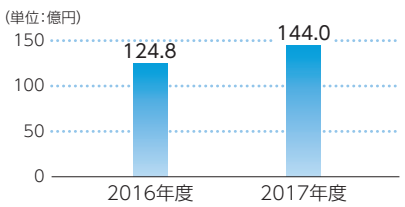
半導体市場は、データセンター向け需要の拡大等を背景に半導体の技術革新や半導体メーカーの生産能力強化が継続される等、引き続き堅調な成長が予想されます。プローブカード市場につきましても、成長市場であるNAND型フラッシュメモリー向けを中心に需要の増加を予想しております。当社グループといたしましても、更なる製品の競争力の強化を図り、企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

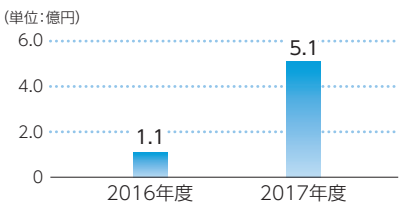
2018年6月

業績の推移

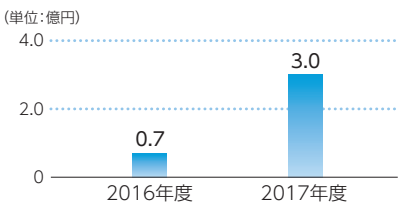
○売上高



○営業利益



○親会社株主に帰属する当期純利益



※記載金額未満は切り捨てて表示しております。

半導体の品質を支える。

スマートフォン、自動車、サーバー等多くの製品を支えている半導体。
当社グループは、半導体の品質を支える上で必要不可欠なプローブカードの開発、製造、販売を行っております。

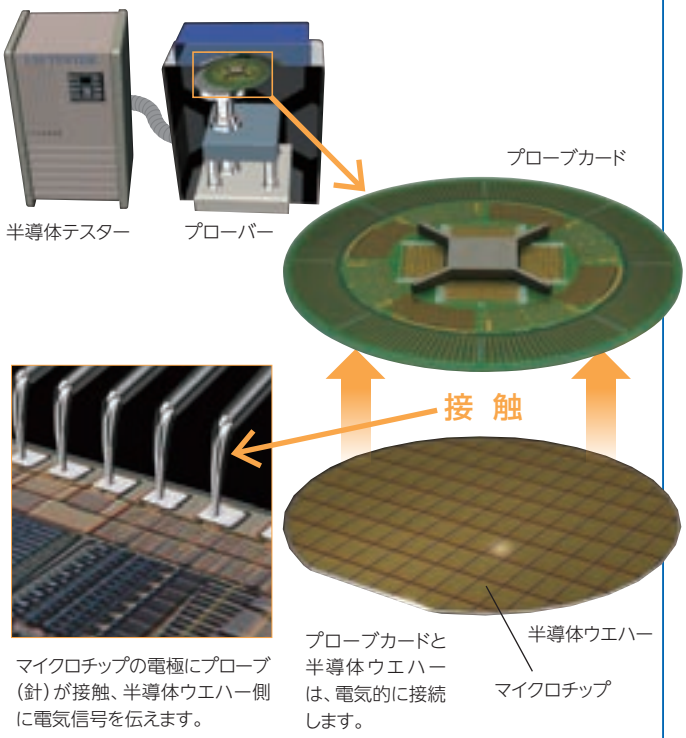
プローブカードの役割

プローブカードは、半導体の製造工程の中で、ウエハーテストとよばれる電気的な検査を行う工程で用いられます。

そして、半導体ウエハー上につくられたマイクロチップの電極に、最大10万本以上のプローブ(針)を接触させ、電気信号を半導体テスターに伝える重要な役割を担っております。

そのため、優れた電気的特性やミクロンオーダーの組立精度が求められます。

ウエハーテストのイメージ

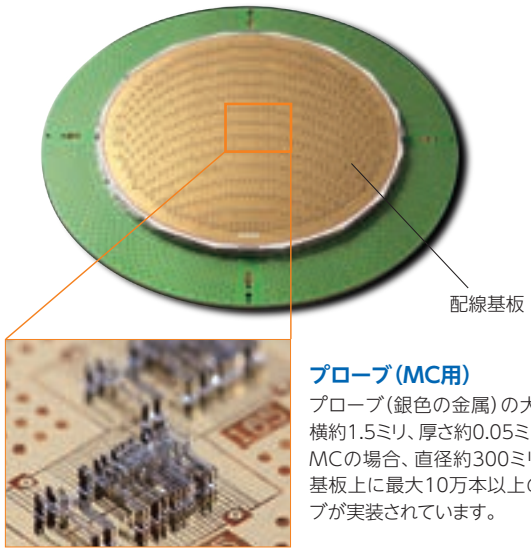


アドバンストプローブカード(Mタイププローブカード)

半導体ウエハー上につくられたマイクロチップを同時に多数測定することに優れた当社の主力製品です。スマートフォンにも搭載されているDRAMやNAND型フラッシュメモリー等の検査に使われています。また、よりたくさんのプローブを搭載し高密度なプローブカードを生産するため、MタイププローブカードにはMEMSとよばれる高度な技術も用いられています。

MEMS製造(クリーンルーム)

Mタイププローブカード(MC)



プローブ(MC用)
プローブ(銀色の金属)の大きさは、横約1.5ミリ、厚さ約0.05ミリです。MCの場合、直径約300ミリの配線基板上に最大10万本以上のプローブが実装されています。

技術の開発と製品化によって社会に貢献する。

半導体は、社会インフラを支えるIT基盤の中核技術として、また省エネルギーや環境に配慮した製品の基幹部品として、その重要性はますます高まっています。当社は、1970年に日本で最初にプローブカードの製造を開始し、長年エレクトロニクス産業の成長に貢献してまいりました。そしてこれからも、プローブカードを通じて半導体の品質を支えるとともに、技術の開発と製品化によって、社会に貢献する企業であり続けます。

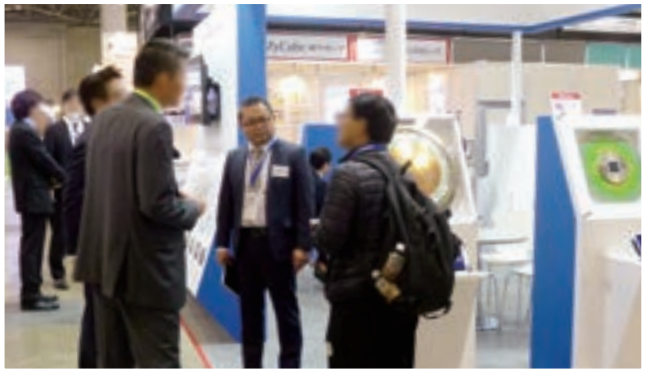
世界の主要な生産・販売拠点

これまで、当社は先駆的に海外に生産・販売拠点を設けてまいりました。近年、半導体市場はアジアを中心に成長しており、海外戦略の重要性が増しております。今後も当社グループは、海外拠点のネットワークを活かした販売活動の充実を図るとともに、日本から各国拠点へのリソースの投入や一層の技術支援により、海外販売の強化を推進いたします。

Topic

「セミコンジャパン2017」に出展

2017年12月に東京で開催された半導体製造装置・材料の国際展示会である「セミコンジャパン2017」に出展、当社の製品や技術をアピールいたしました。



●株式事項●

(2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	10,604,880株
株主数	4,952名

●大株主●

(2018年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
㈲大久保興産	1,266千株	11.96 %
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱	1,023	9.66
日本マスタートラスト信託銀行㈱	489	4.62
大久保和正	470	4.44
大久保英正	376	3.55
㈱三菱東京UFJ銀行	309	2.91
大久保昌男	290	2.73
古山陽一	260	2.45
SICAV ESSOR JAPON OPPORTUNITES	196	1.85
日本電子材料社員持株会	182	1.72

(注) 1. 持株比率は、自己株式(15,456株)を除いて計算しております。
2. ㈱三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で㈱三菱UFJ銀行に商号変更しております。

●役員●

(2018年6月26日現在)

取締役	
代表取締役社長 社長執行役員　営業統括部長	大久保　和正
常務取締役 常務執行役員　管理部門統括部長	足立　安孝
取締役	吉田　博之*
取締役	吉田　裕*
取締役 常勤監査等委員	竹原　克尚
取締役 監査等委員	田村　耕一*
取締役 監査等委員	濱田　幸和*

*は社外取締役

執行役員	
副社長執行役員 品質統括部長	呉　泰燁
執行役員 海外生産担当	大澤　茂巳
執行役員 本社MEMS工場長	森　隆一郎
執行役員 開発&MEMS統括部長	坂田　輝久

●会社概要●

社名	日本電子材料株式会社
英訳名	JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
住所	兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号 TEL.06-6482-2007 (代表)
設立	1960年4月6日
資本金	983,100千円
事業内容	●半導体検査用部品の開発・製造・販売 ●電子管部品の製造・販売
株式市場	東京証券取引所市場第1部
証券コード	6855

●株主メモ●

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 … 3月31日 剰余金の配当 … 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪営業本部　大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料) ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告の方法	当会社の公告方法は、電子公告とします。ただし事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 http://www.jem-net.co.jp/

(注) 1. 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。

JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
日本電子材料株式会社
〒660-0805　兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号
http://www.jem-net.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK
UD FONT